

# 東雲だより

## 今月のトピック

ゲリラ豪雨や台風に備えて  
安全対策を！！！！



①太陽光発電施工研修

②8月研修報告

③太陽光発電 現場調査のポイント特集



## 8 / 23 (火) 太陽光発電施工研修

8 / 23 (火) 太陽光発電施工研修をエコリフォームセンターにて行いました。設備工事店様、工務店様を中心に10名が参加されました。

屋根の形状や面積確認から設計、見積そして現場調査、搬入、据付となります。

現場調査はかならず屋根裏にもぐって垂木の位置、野路板の状態、漏水の有無を必ずチェックします。

また肝心なのは屋根勾配です。勾配が6寸以上あると足場工事が必要となります。据付施工は実際に模擬屋根に乗って太陽光発電パネルを取り付けます。

東雲の模擬屋根は現在3寸勾配ですが、4寸5分勾配のものを計画中です。ご期待下さい。



## 8/4(木)積水配管接続基礎研修

8/4(木)東雲にて積水さんの講師により給水管の配管接続研修を行いました。リフォーム店様、工務店様を中心に14名のお客様が参加し熱心に受講されました。

元請業者様も設備工事の基礎を勉強しようという意欲のある方が多く見られます。

今回は戸建住宅、集合住宅(マンション)の給水方式・排水方式の配管例と配管材料のいろはを勉強した上で、硬質ポリ塩化ビニール管の配管接続を実習しました。

実習はモデル用図面にしながらパイプ9本、エルボ2本、チーズ4本、バルブソケット2本を接着し組み立てます。カッティングやバリ取りも行います。また接着剤をどれだけつけたらよいか、差ししろはどの程度か、接着剤のはみ出しはないかなど意外と難しいようです。今後配管接続研修は定期的に企画してまいりたいと思います。



## 8/20(土)調査診断と改修セミナー

今回はテナントビルオーナー、賃貸マンション・アパートの大家さんを対象とした建物の保全に関するセミナーでした。

東日本大震災以後、建物所有者として耐震への関心は高まりました。建物の良好な保全のための中長期修繕計画の中に耐震改修を取り込む物件も出てきました。

耐震工事は国や行政の助成制度を利用する方法や税制面で優遇される工事費の考え方などの講義がありました。セミナー終了後、実際の現調依頼が来る評価の高いセミナーとなりました。

10月1日(土)に第二回目を予定しています



## 8/23(火)省エネ・エコリフォームセミナー

今回の内容は、ローテク省エネセミナーで従来の技術をハイテク、高コストにならず省エネが実現できることを紹介しました

- 1.換気口で電気を使わず結露解消
- 2.既存のエアコンを使い空気の道を作る事で水や電気を使わず床暖しエアコンのランニングコストもセーブする
- 3.エアコンの吹き出し口にファンを取り付けて、吹き出し口の風を拡散し室内の温度ムラも解消できる
- 4.地中熱を利用して、ファンユニットで基礎に作った蓄熱層を利用し冷暖房に応用する。
- 5.植木鉢で自然のエアクリナー:ホルムアルデヒドや室内空気環境を植木、土、室内空気でもリサイクル
- 6.生ごみを焼却せずにローコストで処理できるドラム型の処理装置
- 7.自己完結型バイオリサイクルトイレ。複合発酵技術を用いて微生物でし尿を分解し、水洗水としてリサイクル。
- 8.発電機として脚光を浴びている、スターリングエンジンを模型で説明。廃熱利用のエンジンで地域発電に。
- 9.太陽熱で暖められた空気を暖房に使うソーラーウォール。海外では大きな施設に活用されている。
- 10.「スカイライトチューブ」で明りの届かない部屋に太陽光を。
- 11.自転車型発電機で非常時の発電装置に。  
Max120W、街乗りスピードで20Wを発電する。
- 12.従来からある商品で最もリーズナブルな太陽熱温水器。



# 太陽光発電 現場調査のポイント特集

設置前の確認項目として以下のポイントがあげられます。

## ■対象建物の調査

- ・お客様情報:住所、氏名、連絡先
- ・建物区分(新築、既築、増改築)
- ・建物年数
- ・建物階数
- ・担当電力会社と電力契約内容

## ■設置対象屋根の調査

- ・設置方角(方位)・・・真南、傾斜角度20度～30度が最適
- ・屋根の形状・・・寄棟、切妻、片流れ、屋根材の種類、瓦の寸法確認
- ・屋根の勾配・・・勾配制限注意、6寸以上は足場設置
- ・障害物有無・・・建物、樹木、アンテナ、電線など
- ・屋根の寸法・・・各方面の屋根寸法、垂木サイズ・ピッチ
- ・屋根材の確認・・・野地板の種類、厚み、強度、痛み具合、漏水有無

## ■電気設備の調査

- ・外線部の確認:引込線の状態、計器の配置、系統線の配線位置
- ・内線部の確認:各間取り、分電盤、配線方法、INVの設置場所  
接続箱の設置場所、モニター関係機器の設置場所の確認

瓦の寸法



屋根の勾配



方位



野地板の種類



垂木サイズ



垂木ピッチ



野地板の状況



変圧器柱



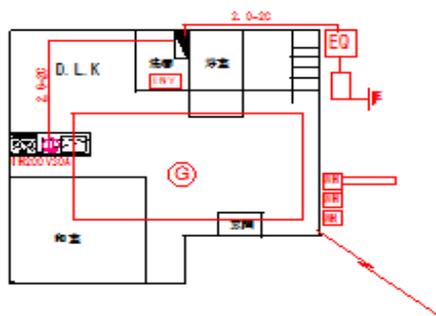
引込線受点



屋根の形状



間取りの確認



計器の配置



接続箱の位置



INV・送信機位置



屋根の形状、方位、面積、勾配などからメーカーの現調チェックシートを使って設置枚数とレイアウトを決めます。  
また屋根裏にもぐって垂木のサイズ、ピッチ、野地板の種類・厚み・痛み具合漏水の有無を確認することがポイントです。

